

雇用管理システムの活用で通勤不要の労働環境を確立。 制作物の効果を能率給に反映させ、やりがいに。



在宅雇用の経緯

筋ジストロフィーの症状がある楠本隆司さんは、就労への強い意志を持ち、高校卒業後、大阪市職業リハビリテーションセンター（以下「リハビリテーションセンター」）での訓練を受講。2年間の訓練の修了を控え、取得した情報処理資格を活かして就職したいと考えていました。そこで支援団体アンウィーブの代表で、リハビリテーションセンターの講師も務めていた牧文彦さんに相談。牧さんは、楠本さんのホームページ作成能力がすでに雇用レベルに達していると判断し、ホームページの管理者を探していた美容サロン MASHU に採用を勧めたところ、その能力が評価され、採用が決定しました。

内定後、楠本さんはアンウィーブが行う採用前の在宅研修に参加。社会人としてのマナーや雇用先の就業規則を学習するとともに、ホームページの運営や管理法を習得しました。楠本さんは採用後も自ら進んでホームページのデザインや作成ソフトを学習するなど、スキルアップのための努力を続け、ホームページを通じての集客率を向上させました。そうした新規顧客はカウント数に応じ、能率給として基本給に加算されるため、さらなる労働意欲の喚起にもつながっています。

Profile

支援団体 株式会社 アンウィーブ

- 所在地：大阪府大阪市西区靱本町 2-2-17 RE006-401 号
- ☎ 06(6479)1303 FAX 06(6479)1301
- URL：http://www.unweave.jp
- 在宅就業支援の利用者：16名（うち重度障害者 15名）（内訳）身体障害者 …………… 16名

平成 14 年大阪府中小企業支援センター・財団法人大阪産業振興機構テイクオフ 21 事業の認定を受け、IT を活用した SOHO システム及び就労システムを開発し企業に提供している。さらに、ビジネス社会に必要とされる職業知識や技能を身に付けた障害のある方と企業のマッチング及び障害のある方の就労環境に関する企業コンサルティングを実施。また視覚障害者である社員が、自らの経験のもとに立ち上げた情報検索エンジン「EYERINK」の管理運営もしている。

企業 株式会社 MASHU

- 所在地：大阪府東大阪市小阪本町 1-12-5
- ☎ 06(6727)7746 FAX 06(6727)7904
- URL：http://www.mashu.jp
- 業種：サービス業
- 事業内容：美容業

従業員数 113 名
うち在宅雇用者数 …………… 1 名
うち障害者の在宅雇用者数 …………… 1 名

自社のホームページを立ち上げながらも、美容業としての業務に追われ更新に着手できず、そのための人材を確保したいと考えていた。そんな折、知人を介して知った障害者支援団体のアンウィーブの事業内容に賛同。アンウィーブの推薦により、ホームページ更新のための社員として障害のある方を 1 名採用した。

在宅雇用者 楠本 隆司さん

- 所在地：大阪府在住
- 障害種別：身体障害（1 級）
- 障害状況：筋ジストロフィーによる四肢体幹機能障害。車椅子を補助具として使用。

生後間もなく筋ジストロフィーを発症。高校の普通科を卒業後、就労技術を獲得するため、2年間大阪市職業リハビリテーションセンターに通所。ホームページのシステム構築、プログラム作成、デザイン考案を学び、幅広い業務を一人で行うことができる能力を身に付けた。その後、ホームページに対する高いスキルを評価され、20歳の時に支援団体の推薦により就職。ホームページの管理・運営を行う専門のスタッフとして活躍している。

支援団体

株式会社
アンウィーブ

支援内容紹介

障害とスキルの高さに対する理解を得ることで
雇用の不安を解消。
採用前の在宅研修と労働環境の改善で本人の負担を軽減。

よりよいマッチングを実現するため 信頼できる企業に推薦

高校を卒業後、リハビリテーションセンターに通所していた楠本さんは、通所していた生徒十数名の中でもホームページに対する高いスキルを持っていました。「システム構築、プログラム作成、デザイン考案等において彼の能力は十分就職できるレベルでした」と当時、リハビリテーションセンターの講師として楠本さんを指導していた支援団体アンウィーブの牧文彦さんは言います。楠本さんからの相談を受け、彼のスキルを活かせる就職先を探していた牧さんは、アンウィーブの活動にも理解のあった、美容サロン MASHU を経営する増成さんに打診。増成さんに楠本さんのホームページ作成の様子をリハビリテーションセンターで見てもらい、筋ジストロフィーの障害特性やスキルの高さの理解を深めることで、採用に結びつけることができました。

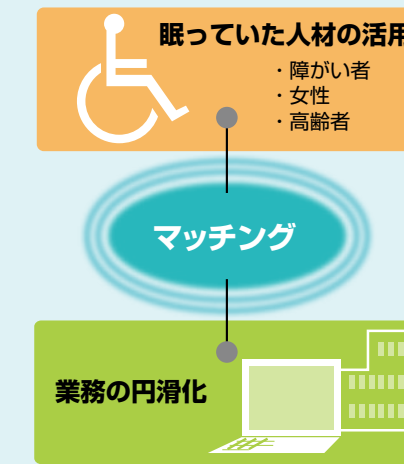
入社後を想定した在宅研修で 継続雇用の足掛かりに

「私たちは障害のある方に在宅で長く働いて欲しいという思いからさまざまな取り組みを行っています」と牧さん。就労の経験がなかった楠本さんに対しても実際に働く前に在宅によるさまざまな研修を行いました。社会人としてのマナーや業務報告方法、雇用先の就業規則についての研修に加え、入社後に業務に必要なオンラインショップの商品または情報の登録方法など、ホームページ運営にかかわる技術的な研修を行いました。現在でも楠本さんから質問を受ければすぐに回答し、彼の技能向上を手助けしています。

アンウィーブシステムで 在宅雇用全般をコンサルティング

「作業効率向上のためにはハード面の充実が欠かせない」と話す牧さん。楠本さんの筋力が徐々に落ちてマウスのダブルクリックが困難にならないように、ワンクリックで作業できるように変更するなど、システム上に課題点を見つける度に改良を加えています。また、企業に対しては、在宅雇用における勤怠及びスケジュール管理ソフトを提供するほか、従来は各店舗で行っていた美容サロンの顧客管理を一括して行えるシステムを整えるなど、職務創出をサポートしています。さらに、障害者作業施設設置等助成金を利用した職場環境の整備を企業に提案するなど、雇用全般におけるコンサルティングを含めたアンウィーブ独自の取り組み（アンウィーブシステム）により、在宅雇用を全面的にバックアップしています。

◆アンウィーブの運営システム



代表取締役
牧 文彦さん



アンウィーブは視覚障害者のための検索エンジン EYE LINK も管理運営しています。



検索エンジン EYE LINK は全盲の視覚障害者が管理しており、入力した文字は点字表示装置を使って確認しています。



アンウィーブのトップページ。企業理念からシステムの説明、導入事例などを紹介しています。

企業

株式会社 MASHU

支援を受けて

支援団体が開発したシステムを上手に利用して在宅雇用を最大限に活用。能率給の導入や新しいアプリケーションソフトの購入で本人のやる気をバックアップ。



代表取締役社長 増成 進さん

Work contents

楠本さんの業務内容

- 始業、終業の際のメール挨拶文の送信
- ホームページの作成、管理運営
- 店舗の取材、撮影
- ホームページデザイン、ホームページソフトの学習
- パンフレットなどの印刷物の制作

システムの活用で勤務時間と進捗状況の管理をスムーズに

勤務場所が離れていても勤怠やスケジュールの管理ができる、支援団体が開発したシステムを用いて在宅雇用を行っています。また、従来は各店舗ごとに行っていた顧客管理を在宅雇用者が一括して管理できるよう、全店舗のパソコンシステムをカスタマイズしました。始業・終業・休憩などの時間の管理や仕事の進捗状況はこれらのシステムを使ってチェックをしますが、本人の体調に合わせた無理のない勤務するために、こまめにメールや電話で連絡を取り合っています。



▲勤怠管理のページ。楠本さんは毎朝この画面を立ち上げてから業務に就きます。

情報共有と店舗取材でコミュニケーション促進

伝達の手段としては主にメール、電話を使っていますが、社内の情報はサーバーにアクセスすればすべて閲覧できるようなシステムを整え、会社の組織の一員として円滑なコミュニケーションが図れるようにしています。この他に社員との交流の機会として上げられるのが、ホームページ上で更新している MASHU 新聞の取材です。メールや電話ではなく車椅子で各店舗へ出掛け、日頃会えない社員と直接関わりを持つようにしています。



▲スタッフに取材する楠本さん。月に2回車椅子で出掛けるのを楽しみにしています。

楠本さんの雇用状況

雇用形態	正社員
勤務時間	8時間/日 (40時間/週) ※残業なし、週休1~2日
賃金	月給制
福利厚生	整容国民健康保険、厚生年金、雇用保険に加入
設置機器	B5ノートパソコン1台 NEC PC-VA60HVHZVBF デジタル複合機1台 MFC-5100J
購入、設置費用	約600万円(システム構築費用を含む、通信費、電気代として月8,000円支給)
メンテナンス	なし
消耗品の購入	必要に応じて会社で支給
雇用にあたり活用した制度	障害者作業施設設置等助成金

在宅雇用者 Interview

株式会社 MASHU 楠本 隆司さん



障害に理解ある方々と出会ったことで自分の希望する分野での就職への夢が叶いました。

「体に負担をかけずに長く仕事を続けたい」と在宅雇用を希望したことで、在宅雇用支援を行っているアンウィーブさんと出会い、自分の技能を認めてくださった MASHU に就職することができました。今は在宅で働けて本当に良かったと思っています。働いても通勤していたら、毎日家を出て電車移動するだけで体力を消耗して、とても5年もの間、働き続けることはできませんでした。今まで充実した

日々を送ってこられたのは、在宅で働けたからだと思います。

今後は、さらにスキルアップにチャレンジしていきたいと考えています。システムのレベルを上げデザイン性を高め、ホームページ制作の技術を上げていきたいです。この仕事は奥が深いので興味が尽きることはありません。今後も努力を積み重ね、これまで以上の成果を上げていきたいと思っています。

支援関係早見表

関係者	株式会社 MASHU	株式会社 アンウィーブ	楠本さん
時期			
就職・雇用ニーズ	・ホームページの管理・運営者を探していた		・卒業後の就職先を探していた
就職前	就職相談期	相談 ・就職先を探す 楠本さんを推薦	相談 ・在宅雇用を希望
	就職準備期	面接 ・楠本さんのパソコンスキルをみせてもらう ・内定 業務管理システムの導入	面接 業務管理システムの開発 ・在宅で勤怠管理、スケジュール管理、顧客管理が可能に
採用決定			
就職後	トレーニング期	研修 ・業務管理システムについて ・マナー研修 ・雇用先の就業規則について	技能の習得
	初期段階	環境整備 ・助成金申請	環境整備 ・助成金制度の情報提供 環境整備 ・マウス操作を楠本さん用に改良 楠本さんの自宅に機器を設置 効率向上
	現在	体調の把握 システム改良 能率給 ・集客数に応じた能率給の付与	環境整備 ・システムの改良、作業環境のバージョンアップを提案 フォローアップ ・技術的、精神的相談 継続雇用 ・体調に合わせて勤務 モチベーション向上 ・スキルアップ ・職務の幅が広がる

まとめ

この事例におけるポイントと評価

障害のある方が働きたいという強い意志を持ち、さらに本人の能力が高いレベルであったこと、加えて採用前から企業側が支援団体とつながりを持っており、障害への理解が深まっていたことが、雇用につながった大きな要因である。本人は企業から非常に高い評価を受けており、継続して意欲的な勤務を行っていることから、支援団体による人材推薦と充実した在宅雇用システムの提供が成功した好事例と言える。

今後の目標

今後の目標として、病気による体力や筋力の低下に対して、適宜必要なサポートを提供していくことを考えている。本人のモチベーションの維持やスキルアップをサポートするために、本人、企業、支援団体の三者が日頃から緊密なコミュニケーションを図り、機器の改良、システムの更新などの対応を図っていきたい。